

Akamai、AI 検索に対応する AI Brand Presence を発表

AI エージェント時代に向けてコンテンツ最適化と可視性向上を支援

※本リリースは 2026 年 5 月 18 日(現地時間) 米国マサチューセッツ州ケンブリッジで発表されたプレスリリースの抄訳版です。

- AI 検索および AI エージェントのトラフィック向けにブランドコンテンツを最適化
- Akamai は自社サイトに先行導入し、引用が 85%、ブランドプレゼンスが 364%向上
- AI ボットのトラフィックが前年比で 300%以上増加

AI を活用してインターネットの検索や閲覧を行うユーザーが増える中、[Akamai](#) (NASDAQ : AKAM) は、企業が自社のコンテンツを AI 検索や AI トラフィック向けに最適化できるよう支援する [AI Brand Presence](#) を発表しました。AI Brand Presence は、Web サイトのコンテンツを LLM 検索や AI エージェント向けに自動変換するとともに、ボットアクティビティの監視や、エッジでのセキュリティを提供します。

現在、消費者は直接 Web サイトにアクセスするのではなく、AI で生成された検索による回答を通じてブランドと関わるが増えています。この AI の仲介により、人による企業 Web サイトへの訪問数は減少する一方で、ボットのアクセスは増加しています。Akamai では最近、AI ボットのトラフィックが前年比で 300%以上増加していることを確認しました。さらに、別の調査によると、[検索の約 60%がクリックなしで終了している](#) (ゼロクリック検索) ことが明らかになりました。インターネットの利用行動におけるこのような大きな変化は、長年にわたり確立されてきたマーケティングファネルを変化させ、LLM が取得・共有する情報の正確性と可視性に関する新たなリスクを生み出しています。

Akamai の Security Strategy 担当 CTO である Patrick Sullivan は「20 年間にわたってデジタル戦略を支えてきた前提が、今まさに崩れつつあります。私たちは、人間主導の検索から機械を介した情報発見への移行という、デジタルの歴史において最も重要な変化を目の当たりにしているのです」「企業やブランドは、デジタル空間で“見えなくなってしまう”リスクに直面しています。顧客が信頼する AI モデルにとって、信頼できる一次情報源にならなければ、その企業は、実質的に存在しないようなものです」と述べています。

AI 主導の Web に特化して設計

Akamai AI Brand Presence は、次の 2 つのコア機能で構成されています。

- **AI 向けに最適化されたコンテキスト配信** : AI Brand Presence は、Web サイトの情報を AI が容易に理解できる形式に変換します。このプロセスはバックグラウンドで自動的に実行されます。バックエンド (オリジナルのウェブサイトのコンテンツ) の更新は不要で、人間のユーザー体験にも影響しません。

- **可視化とインサイト**：単一のダッシュボードで、どの AI モデルがサイトにアクセスし、どのコンテンツを使用しているか把握できます。さらに、これらの AI インタラクションが実際のトラフィックや顧客のエンゲージメントにどのように影響するかを追跡できます。

これらの機能を組み合わせることで、企業やブランドは、AI ファーストのデジタルプレゼンスを構築し、コマースをはじめとするあらゆる分野で、ユーザーの AI を介した検索、意思決定、取引などの行動変化に対応できるようになります。このアプローチは、生成エンジン最適化（GEO）と呼ばれます。

マーケティングチームとデジタルチームにもたらす成果

Akamai AI Brand Presence により、企業は次のことが可能になります。

- AI プラットフォームが、自社のブランド、製品、メッセージを正確に表現する
- AI によって生成された回答と推奨事項の可視性を高める
- AI システムがコンテンツとどのように相互作用し、トラフィックに影響を与えるかを理解する
- リアルタイムの AI 消費パターンに基づいてコンテンツ戦略を調整する
- AI エコシステム全体でコンテンツの表示方法と表示場所を制御する

従来の最適化アプローチとは異なり、AI Brand Presence はエッジで動作するため、バックエンドの変更を必要とせず、既存のワークフローや人間のユーザー体験を妨げることなく、コンテンツ配信をリアルタイムで調整できます。

ブランドストーリーの主導権を握る

Akamai は AI Brand Presence の最初の導入企業として、自社のグローバル Web サイトで本テクノロジーのパイロット運用を実施しました。Akamai は、人間が利用するサイトと並行して AI 対応バージョンのサイトを運用することで、AI が情報をより簡単に処理できるようになり、膨大なデータ負荷を 99%削減しました。従来型の検索からの移行は、即座に成果として現れました。ブランド名が検索に含まれていない一般検索においても、引用数は 85%増加し、ブランドプレゼンスは 364%も向上しました。ChatGPT 単体でみると、Akamai のプレゼンスは競合他社と比較して 133%向上しました。これは、LLM がブランドをどのように見ているかを積極的に管理することが、適切なメッセージを顧客に確実に届ける上で重要であることを示しています。

Akamai の Chief Marketing Officer である Kim Salem-Jackson は「マーケターとして、AI へのシフトを傍観している余裕はありません。私たちは、自ら望む変化を主導する必要があります。私たちは何年もかけてブランドを構築してきましたが、AI モデルがどのようにコンテンツを検索して共有するかを示す情報がなければ、自社の評判の制御を断念することになります」「この技術を自社サイトで最初に検証することで、企業がブランドストーリーの主導権を取り戻せることを証明できました。優れた Web サイトの基準は変化しました。人間に対して優れたユーザー体験を提供するだけでなく、AI が信頼して回答に使用する情報源になるよう、サイトを AI の理解と検索に合わせて最適化する必要があります。AI Brand Presence を導入することで、マーケターはデジタルアイデンティティを確立するための鍵を再び取り戻し、ブランドが常に適切に表示されるようになります」と述べています。



AI エージェント時代に向けて

AI Brand Presence は、Akamai のより幅広い戦略に基づいて構築されており、自律型エージェントがますますユーザーに代わって行動するようになる、AI エコシステムの進化をサポートしています。AI に最適化された配信と AI トラフィックの深い可視性を組み合わせることで、Akamai はこれらの新たなインタラクションにおけるブランドの表現方法をより深く理解し、影響を与えることを可能にします。

Akamai AI Brand Presence は、北米の一部のお客様を皮切りに、LA 版として段階的に提供を開始します。

詳細については、<https://www.akamai.com/ja/products/ai-brand-presence> をご覧ください。

Akamai について

Akamai は、オンラインビジネスの力となり、守るサイバーセキュリティおよびクラウドコンピューティング企業です。当社の市場をリードするセキュリティソリューション、優れた脅威インテリジェンス、グローバル運用チームによって、あらゆる場所でエンタープライズデータとアプリケーションを保護する多層防御を利用いただけます。Akamai のフルスタック・クラウド・コンピューティング・ソリューションは、世界で最も分散化されたプラットフォームで高いパフォーマンスとコストを実現しています。多くのグローバル企業が、ビジネスの成長に必要な業界最高レベルの信頼性、拡張性、専門知識を提供できる Akamai に信頼を寄せています。詳細については、akamai.com および akamai.com/blog をご覧いただくか、[X](#) や [LinkedIn](#) で Akamai Technologies をフォローしてください。

※Akamai と Akamai ロゴは、Akamai Technologies Inc.の商標または登録商標です

※その他、記載されている会社名ならびに組織名、ロゴ、サービス名は、各社の商標または登録商標です

※本プレスリリースの内容は、個別の事例に基づくものであり、個々の状況により変動するものです